

外国人の生活環境適応加速プログラム

平成20年度予算額
412百万円(337百万円)

我が国に滞在する外国人が日本語能力が十分でないこと等による地域社会との軋轢や摩擦
不就学や日本語指導が必要な児童生徒の増加など、教育問題の増加

経済財政諮問会議の「経済成長戦略大綱」、イノベーション25戦略会議の長期戦略指針「イノベーション25」、アジア・ゲートウェイ戦略会議の「アジア・ゲートウェイ構想」、外国人労働者問題関係省庁連絡会議の「『生活者としての外国人』に関する総合的対応策」、自民党外国人労働者等特別委員会の「外国人労働者に関する方針について」等において外国人に対する日本語教育の充実や外国人子弟の就学の促進など外国人の生活環境適応のための対策の充実を提言

外国人の生活環境適応加速プログラムの推進

○外国人児童生徒の母国政府との協議会等の運営 (6百万円)

日本に在留する外国人児童生徒の母国政府との協議会を開催

○「生活者としての外国人」のための日本語教育事業(148百万円)【拡充】

日系人等を活用した日本語教室、日本語能力を有する外国人等を対象とした指導者養成、ボランティアの長期研修、実践的なカリキュラムの研究開発及び日本語教育ハンドブックの作成を実施

○帰国・外国人児童生徒受入促進事業(223百万円)【拡充】

帰国・外国人児童生徒教育の充実のため、下記の取組を実施。

- ・相談員の配置・活用による関係機関等と連携した就学支援
- ・就学前の外国人児童生徒への初期指導教室(プレクラス)の実施
- ・日本語指導の際の補助や学校と保護者との連絡調整等を行う際に必要な外国語の分かる人材の配置
- ・外国人児童生徒教育の拠点となるセンター校の設置などの地域・学校での受入体制の整備

○JSLカリキュラム実践支援事業(35百万円)

JSLカリキュラムを活用した指導方法の普及・充実のため、実践事例の集積やワークショップを開催

外国人労働者問題関係省庁との連携

外国人の日本社会での生活環境適応の実現・加速